中央アルプス　　　　　　　　　　　伊奈川支流東川
2000年10月21日～23日　　　　　　　　松原憲彦(北大山の会)

10月21日（曇り後晴れ）　中津川に着くまでどこに入渓するか考えに考え、結果、以前より気に掛かっていた東川へ。車止めから１時間の林道散歩で出合いの東川橋に到着し、入渓。水量の少ない沢を溯る。地図から期待された屈曲部には、ちんまりとしたゴルジュ滝とトロがあったのみだったが、それなりの雰囲気はあった。屈曲を過ぎれば右岸から林道が闖入して来、やがては取水堰堤まで現れて大いに興醒める。当然ながらに水量は復活。北沢出合いにて天幕を張る。星空の下、屋久島の「三岳」をあおる。

10月22日（晴れ後曇り）　のんびりと８時半に出発。地図上の中流部の滝印まではただのゴーロ沢で、いいペースで溯行する。沢がくるりと向きを変えると、いらっしゃいとばかりに飛沫をあげる２段10ｍのヒョングリ滝が出迎えてくれる。その下の３ｍスラブ滝の落ち口を右岸へ渡ろうとしたときにズルッて胸まで浸かってしまい、独り悲鳴をあげる。ヒョングリの右岸巻きは容易い。３ｍチョックストーン滝の水際をさっさと登って、先の左曲点の日溜まりで素っ裸になって服を乾かす。雲ひとつ無い青空。ここから中山沢出合い二俣まではＵ字型地形で岩壁が一部立つも(船の舳先岩あり)、ナメも出て気分は上々。二俣は右俣に優美な滑滝を懸ける。ここで一考。左俣の予定だったが、空木には先々週行ったばかりだしここは右を採って南駒ヶ岳に上がろっ、とあっけなくルート変更。滑滝登ってゴーロをしばらく進むと、何と大滝現わる。２条25ｍのちょっと手の出ない直瀑で、ガレ利用で左岸を大きく巻く。巻き終えた所がまた二俣で(標高2130ｍ)、右の南駒への沢はＶ字の連瀑谷で、悪相なのが容易に見て取れる。ノーヘルノーザイルノーマネーだし、これじゃあ秋ののんびり山行にならんので、これまたあっさりと左へ転身。黒い30ｍ滝とチョックストーン滝を容易に巻いて鼻つまむと両岸の傾斜も落ち、標高2380ｍで進路を南東にとって赤ナギ岳西尾根に導かれる。かわいいハイマツをちょいと漕げば、だれも居ない赤ナギ岳に到着。空木と南駒が３分程見えて、隠れた。20分でカール底の摺鉢窪避難小屋へ。ひとりのHütten Leben.伊那谷の夜景が綺麗に望まれる。

10月23日（雨）　視界の無い南駒を越え、進路を西へ。冷たい雨の中、須原道を下山。(松原憲彦)

タイム　10月21日　ゲート発13:00－東川橋14:00－北沢出合ＢＰ15:30／22日　出発8:30－中山沢出合10:45－赤ナギ山14:30～15:00－摺鉢窪避難小屋15:20／23日　出発7:00－南駒ヶ岳7:35－登山口10:00－ゲート着10:50
地図　空木岳
グレード　３級